



議員 歩行者分離式信号機の目交差点は、ほとんどの自転車利用者が自転車に乗ったまま、歩行者用信号機に従い横断している。さいたま市では「歩行者用信号青のとき自転車はおりて渡りましよう」との掲示物を張り、自転車利用者への注意

交通安全対策

さいたま市と同様の掲示物を設置できないか

「提案の表示方法参考に検討したい」

本 田 哲 議員



▲さいたま市に設置されている注意喚起のステッカー

議員 昨年6月議会で、戸田公園駅西口のtocoバス停留所にベンチの設置を求めた。「設置について検討する」との答弁であったが、その後の検討状況は、

市民生活部長 利用者の利便性向上に資すると考え予算要求をしたが、認められなかった。

喚起を実施している。さいたま市と同様の掲示物を設置できないか。

市民生活部長 提案いただいた表示方法を参考にしながら、注意喚起の方法を検討したい。

今後設置に向けて予算措置を検討する。

「**抜け道ではないと分かる看板の設置を**」

議員 戸田中通りからつながる市道3075号線は、抜け道になっていると勘違いし、進入してくる車両が多い。抜け道ではないことが分かる看板などを設置し、歩行者、近隣住民への交通安全対策を講じるべきではないか。

市民生活部長 市道3075号線入り口に立て看板を設置することが考えられるが、厳警察署と協議しながら対応策を検討したい。

tocoバス 停留所の充実を

議員 昨年6月議会で、戸田公園駅西口のtocoバス停留所にベンチの設置を求めた。「設置について検討する」との答弁であったが、その後の検討状況は、

今後設置に向けて予算措置を検討する。

「**抜け道ではないと分かる看板の設置を**」

議員 戸田中通りからつながる市道3075号線は、抜け道になっていると勘違いし、進入してくる車両が多い。抜け道ではないことが分かる看板などを設置し、歩行者、近隣住民への交通安全対策を講じるべきではないか。

市民生活部長 市道3075号線入り口に立て看板を設置することが考えられるが、厳警察署と協議しながら対応策を検討したい。

特別支援教育

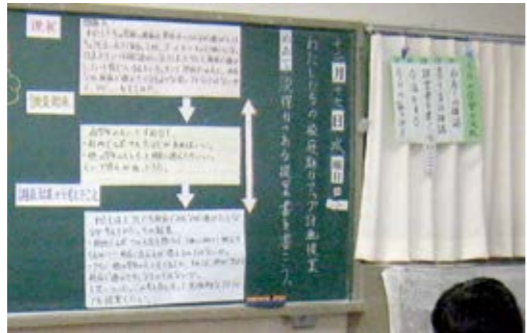
授業のユニバーサルデザイン化を

「**全学校へ広まるよう取り組む**」

金 野 桃 子 議員



議員 発達障害のあるお子さんを育てるお母さん方と意見交換を重ねた。①全小中学校に特別支援学級等の拡大を②学校選択制の検討を③授業のユニバーサルデザイン化を④学校と連携し児童保育室等もユニバーサルデザイン化を⑤発達障害への理解を広げる施策を。



▲授業のユニバーサルデザイン化で周知する。

教育部長 ①需要に応じて拡大。平成33年度に設置率83・3%を見込む②導入予定はない③既に教師の研修会を通し全学校へ広めていく④関係課から要望があれば伝える⑤保護者へはSNS等を活用し

子ども青少年部長 ④児童保育室等でも学校と連携し、対応の充実に取り組む。

福祉部長 ⑤まちづくり出前講座を通して理解を広めたい。

成年後見制度の推進を

議員 今年3月の成年後見制度利用促進基本計画に基づき、戸田市の現状を踏まえ、①市町村計画の策定②地域連携ネットワークの設立③審議会等の設置を。

福祉部長 戸田市の高齢化率は15・9%。①今後国の工程表に基づき計画策定を進める②地域ケア会議等既存の組織を活用する③総合介護福祉市民協議会等既存の組織を活用する。

その他の質問

Q こどもの国プール3部制へ改正を。
A 今後調査研究する。
Q 学習室の常設を。
A 夏休み等期間限定開放を検討する。

一般質問

パークゴルフ場

来年7月開設予定。運営管理は

「**市直営による業務委託**」

浅 生 和 英 議員



議員 上部公園の有料施設として来年7月開設予定のパークゴルフ場は、子どもから高齢者まで楽しめる①運営管理は②周辺道路の安全確保は③市民の優先利用は④利用促進の広報は⑤災害時の避難場所としての活用は。

環境経済部長 ①市直営による業務委託②県警や道路管理者と協議を行う③使用料は、市内外を分けて設定予定④広報及びホームページ、SNS等活用⑤施設管理のため難しいが、地元の要望もあり、管理棟にソーラー発電や備蓄場所等を設置予定。正式活用は、県と所管課と慎重に調整する。



▲上部公園のパークゴルフ場と遊具

その他の質問

Q 児童虐待が社会問題。周知啓発を保護者や教職員の大人だけではなく、児童生徒への教育、周知啓発も、予防や早期発見に効果的だと思つが。

A 子どもの人権意識を高め、周囲の人に相談することや、自分や他者を大切にすることを、児童虐待防止にもつながる。電話相談窓口があること、つらいときに我慢せず相談する大切さも知らせていく。

Q 美女木八幡歩道橋に「ちかんに注意」の看板。安心安全のため、さらなる対策を。

A 昨年、歩道橋での声かけ事案と痴漢被害報告はない。施設改善が可能か、改めて国土交通省と協議し、提案していく。

タイムライン策定のプロセスを重視すべき

「**関係機関が参加し5月試行版策定**」

三 浦 芳 一 議員



議員 新多発時代に備え「タイムライン」(事前防災行動計画)策定と、そのプロセス・運用が大事であり、重視すべき。

危機管理監 荒川下流河川事務所が主導し、県・沿川自治体・地方気象台等の関係機関が参加し会議を重ね、今年5月に試行版を策定し、運用している。



▲タイムライン会議

議員 住民の命を守るためには、全地区・コミュニティが自発的に動く仕組みを作る必要がある。自主防災会、消防団、民生委員等の地域住民が参加しての「地区タイムライン」策定の推進を図れ。

危機管理監 市の「タイムライン」と連動させ、作成を促す。

議員 タイムラインにホットラインが明記。その内容は。

市長 荒川河川管理者から直接連絡が入り、的確な情報分析で避難勧告等の判断をする。

緊急輸送道路の路面下空洞調査の実施を

議員 地域防災計画に道路陥没対策を明記するべき。いかがか。

危機管理監 対応できるように検討する。

ドローンの活用を

議員 災害時にドローンの活用が有効であると考え。いかがか。

危機管理監 課題もあるが、有効な手段と認識。民間事業者との協定など検討する。

消防長 さまざまな課題もあり、検討委員会を立ち上げ、今年度中に方向性を出していく。